

コア通信 Vol.61

2021年
7月発行

夏の入道雲のように勢いを増した
「コア通信」最新号のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする
サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

季節に合うおすすめの1曲

7月 ほたるこい

「ほっほほたるこい」で始まる唱歌。作詞・作曲は当時小学校教諭だった三上留吉。出身地の鳥取県・私都（キサイチ）川は初夏の夕方になると川沿いに蛍が飛び交う名所となっている。夕涼みを兼ねた子供たちが群れ遊び、蛍狩りをする様子が歌われている。

8月 Summer

1999年公開の「菊次郎の夏」のメインテーマ。作曲は久石譲。前半・後半で主題のメロディーが異なるドラマティックな展開のインストゥルメンタルとなっている。近年ではトヨタカローラのCMにも使用され、そのメロディーは広く知れ渡った。

QRコードから
演奏が聴けます



心に響く一曲 ふたりの愛ランド♪

1984年4月に発売されたシンガーソングライター石川優子とチャゲ&飛鳥のチャゲのコラボレーションシングル。JALの沖縄キャンペーンソングとして起用され、累計45万枚を売り上げた。

「♪夏夏 ナツナツ ココナッツ」の歌詞とメロディーは同時に出来上がったが、JALから「沖縄にココナッツは無いので歌詞を変えて欲しい」という依頼があり、ココナッツ→【ココ 夏】という妙案が功を奏し、印象的なサビが出来上がったそう。

覚えやすいメロディーラインとハモリの美しさが際立ち、シンセベースとシンセドラムという80年代に流行したアレンジが取り入れられている。

今年も自粛の中で迎えそうな夏だが、夏全開のこの曲を聴いてあの頃の夏を思い出してみては？

夏 夏 ナツナツ ココ夏

愛 愛 アイアイ 愛ランド 飛んで 夏シマシタ

(日本音楽著作権協会(出)許諾 第2104224-101)

音楽ジャンル基礎知識シリーズ Vol.4 ラテン

中南米とカリブ海地域で親しまれているラテン系の民族音楽のことを「ラテンアメリカ音楽」、通称「ラテン音楽」と言います。ラテンアメリカ土着のインディアン音楽に、16世紀以来に移民してきたヨーロッパの音楽、アフリカから奴隷として連れてこられた黒人の音楽が融合し、地域や時代の特徴をもった音楽スタイルが作り出されました。

ソリの良い軽快なリズムが特徴で、特にアフリカの黒人音楽が強く影響しています。ラテンの国々では音楽とダンスは日常的な娯楽として浸透しており、コンガ・ボンゴ・クラベスといったラテンパーカッションが、リズムを作り出すためには欠かせない楽器となっています。

この夏に聴きたい！ラテンの主なジャンル&代表曲

サンバ

ブラジル音楽の中で一番代表的なリズム。日本ではキンキラ衣装のマツケンサンバや、かつての結婚式の定番曲、てんとう虫のサンバがおなじみ。

サンバ・デ・ジャネイロ

タンゴ

アルゼンチン生まれの鋭いスタッカートが特徴的。黒猫のタンゴの“タンゴ”を猫の名前と思っていた人が多かったが、リズムの名称が正解。

ラ・クランパルシータ

ボサノバ

ブラジル生まれのサンバの新しい形。松任谷由実が生んだ傑作バラード、あの日に帰りたいは、日本の代表的なボサノバとして名高い。

イパネマの娘

ルンバ

キューバのアフリカ系住民から生まれ、社交ダンス曲として世界に広まる。日本では、西田佐知子が歌うコーヒールンバが大ヒット。

キサス・キサス・キサス

マンボ

キューバ民謡をアフリカ原住民の音楽のリズムに結びつけた、官能的なダンス曲。美空ひばりが歌うお祭りマンボが、なじみ深い。

マンボNO.5

チャチャチャ

ひょうたんの形をしたギロが刻むリズムが特徴。日本では、イントロが有名な石井明美のCHA-CHA-CHA、子供が大好きなおもちゃのチャチャチャが有名。

感わす女



サマーコンサート 開催決定



2021年8月21日(土)
東京ウィメンズプラザ
ホール(表参道)

♪ 編集後記 ♪

最近、母が運動不足解消をするために、縄跳びを購入しました。私も小学生くらいの感覚で、簡単に跳べるだろうと思っていましたが、二十跳びは十回ほどしか続かず、あの時とは体の重さも違うんだ…と実感。十分な栄養と睡眠に、今月からは適度な運動を加え、これからの暑い夏を乗り切っていきたいと思います！

♪ きんぎょ

かたらい葬®・思い出スクリーン®の

サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21
クレストコート保谷403

TEL:042-421-7150 FAX:042-422-0894
HPアドレス: http://www.so-koa.jp

